



3 国有林野の林産物の供給

3 国有林野の林産物の供給

(1) 計画的な収穫の実施

木材等の林産物については、公益的機能の発揮を旨とする管理経営を進める中で、自然環境の保全等に配慮しつつ、持続的・計画的に供給することとしています。平成13年度には、主伐^{注)}、間伐合わせて452万 m^3 の木材を収穫しました。

このうち間伐については、12年度に引き続いて、間伐が必要な森林がまとまっている区域を対象に、継続的に使用できる作業道等の整備を進めたり、長伐期施業林分の公益的機能を高めるための間伐を積極的に行いました。

また、民有林からの供給が期待しにくい木曽ヒノキ等の樹種や大径材についても、多様な森林を有するという国有林野の特性を活かして計画的な供給に努めています。

特に、伝統的な木造建築物等の修復に必要な特殊な木材や^{ひわだ}檜皮等については、慢性的な不足に対処し、安定的に供給するための森林づくりに取り組んでいます。

表-14 収穫の実施状況 (単位：万 m^3)

区 分	平成13年度	(参考)平成12年度
主 伐	174	202
間 伐	279	289
合 計	452	491

表-15 民有林からの供給が期待しにくい樹種の素材(丸太)供給実績 (単位：万 m^3)

樹 種 名	平成13年度	(参考)平成12年度
ヒ バ	4.2	3.8
木曽ヒノキ	1.2	1.0
秋 田 スギ	0.5	0.5

事例 世界文化遺産貢献の森林等の設定

近畿中国森林管理局では、伝統的な木造建築物の修復に必要な^{ひわだ}檜皮や大径材等の資材を供給する「世界文化遺産貢献の森林」と「檜皮採取対象林」を設定しました。

「世界文化遺産貢献の森林」は、世界文化遺産の周辺にあって、修復に必要な資材の供給を行うとともに、森林の重要性や森林と文化財の係わりを学習することを目的に設けられたものであり、京都府、広島県、奈良県の3箇所に3,241haを設定しました。

また、「檜皮採取対象林」は、檜皮を安定的に供給するための森林であり、広島県のほか8府県において80年生以上のヒノキ人工林364haを設定しました。その一部では、すでに採取契約を結んでいます。

(近畿中国森林管理局)



場 所：京都府京都市 ^{くらまやま}鞍馬山国有林 (京都大阪森林管理事務所管内)
 説 明：写真は、檜皮採取対象林の林内の様子(左上)と、京都八坂神社の^{ひわだぶき}檜皮葺屋根がふきあがった様子(右下)です。

(2) 林産物等の販売

平成13年度の木材販売量は、立木販売については16万 m^3 減少して258万 m^3 に、素材（丸太）販売については9万 m^3 減少して48万 m^3 となりました。

民有林からの供給が期待しにくい木曽ヒノキ等の樹種や大径材については、民間市場に販売を委託したり、特殊規格材として販売するなど、より有利な販売に努めました。また、インターネットを活用した販売情報の提供等にも積極的に取り組みました。

このように収入の確保に努力しましたが、木材価格の下落や主伐収穫量の減少等により、林産物等収入は256億円にとどまりました。

民有林からの供給が期待しにくい樹種の供給



場 所：北海道苫小牧市（左上）、秋田県能代市（右）、愛知県名古屋市（左下）
場 説 明：写真は、北海道森林管理局函館分局後志森林管理署管内で生産されたマカバ（左上）、東北森林管理局米代西部森林管理署管内で生産されたケヤキ（右）、関東森林管理局東京分局静岡森林管理署管内で生産された天然ヒノキ（左下）で、民間の市場で販売され、高値で落札されました。

表－16 林産物等販売の状況

区 分	平成13年度		(参考)平成12年度	
	数 量 (万 m^3)	金 額 (億円)	数 量 (万 m^3)	金 額 (億円)
林産物等収入	-	256	-	300
立木販売	258	74	274	95
素材販売	48	174	57	193
そ の 他	-	9	-	12

注：1 数量は、立木販売については立木材積で、素材販売については 素材（丸太）材積で示している。

2 「その他」は、官行造林官収分収入、分収育林官収分収入等である。

表－17 国有林材の販売単価の動向 (単位：百円/ m^3)

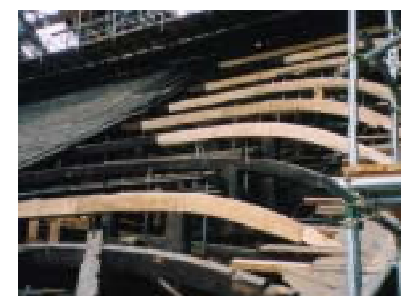
年 度	平成										
	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
立木販売	80	65	63	54	51	55	49	38	35	31	22
素材販売	346	312	325	326	332	360	314	291	326	337	358

注 販売単価は、立木販売については立木材積単位、素材販売については素材（丸太）材積単位の年間平均単価(実績)で示している。

表－18 公共建築物等への供給事例

公共建築物等への国有林材の供給事例

区 分	樹種	材積(m3)	内 容
公共工事	ヒノキ	6	高知県禰原町から、町道の神幸橋架替工事資材としてヒノキを使用したいとの要請を受けて供給しました。 (四国森林管理局) (右ページ写真参照)
公共建築物	青森ヒバ	300	青森県大畑町から、町営保育所の改築に地元産の青森ヒバを使用したいとの要請を受けて供給しました。 (東北森林管理局青森分局)
	ヒノキ	77	長野県大桑村から、小学校体育館の建設に伴い内装材として地元産の人工林ヒノキを使用したいとの要請を受けて、地元木曽谷産人工林ヒノキ間伐材を供給しました。 (中部森林管理局) (右ページ写真参照)
	ヒノキ	13	高知県本川村で建設された「木の香温泉」の柱材として、ヒノキを供給しました。 (四国森林管理局) (右ページ写真参照)
社寺	木曽ヒノキ	489	20年に1度の伊勢神宮の遷宮に備え、神宮司庁からの要請を受けて、木曽ヒノキを供給しました。 (中部森林管理局)
	天然ヒノキ ヒノキ	16	京都西本願寺の修復に当たり、母屋の桁用材として、天然ヒノキ及びヒノキの大曲材を供給しました。 (四国森林管理局) (右ページ写真参照)
文化的構造物	木曽ヒノキ	264	愛媛県大洲市から、市政50周年記念事業として「大洲城」天守閣を復元するに当たり、構造材として木曽ヒノキを使用したいとの要請を受けて供給しました。 (中部森林管理局)



場 所：高知県高岡郡禰原町（写真左上）、高知県土佐郡本川村（写真右上）、長野県木曽郡大桑村（写真左右中）、京都府京都市（写真下）

説 明：写真は、高知県禰原町の神幸橋（左上）、高知県本川村の「木の香温泉」の外観（右上）、長野県大桑村の小学校体育館の内装（左中）と外観（右中）、京都西本願寺の母屋の修復の様子（下）です。